令和２年度 社会福祉法人秋桜会
湊高台こども園事業報告書

１ 湊高台こども園の運営

（1）定員

【本園】	１号認定	（教育）	15 名
	２・３号認定	（保育）	81 名
【分園】	３号認定	（保育）	29 名
		合計	125 名

（2）年齢別・月別入園園児数（各月初日現在）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0 歳児	6	7	8	10	14	14	15	16	14	15	17	17
1 歳児	23	24	24	24	24	24	24	23	23	22	22	22
2 歳児	18	19	19	19	19	18	18	17	18	19	18	18
3 歳児	22	23	23	23	23	23	24	24	24	25	25	25
4 歳以上	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	53
計	123	127	128	130	134	133	135	134	133	135	136	135
うち 1 号	16	15	15	15	14	14	16	15	17	19	20	19

（3）職員配置 （別紙 1）

（4）会議の開催状況

	回数	内容
職員会議	月 1 回以上	職員への伝達や、職員一人ひとりの倫理観、職務及び責任の理解など、共通認識を図る。
ケース会議	適宜実施	クラスの気になる子の様子について職員全体で周知し、具体的な関わりについての理解を図る。
給食会議	月 1 回	各クラスの喫食状況や分量等を報告しあったり、献立や行事食についての打ち合わせなどを行う。
行事会議	行事ごと	行事の打ち合わせや反省、今後の課題などを話し合う。
事故防止委員会	年 3 回	ヒヤリハットの検証や事故防止のための具体的な手立てについて話し合う。

※会議録は全職員に速やかに回覧し情報共有及び共通認識を持って現場での行動につなげている。

2 教育保育の実施状況

(1) 教育保育内容

教育保育目標達成のために、次のような実践に努めた。

縄跳び	縄を使った遊びを楽しみ、心身の発達や体力増進のために、毎朝縄跳びをする。
集団遊び	集合遊びやルールのある遊びをたくさん取り入れ、社会生活、道徳性、知識や技能の発達を促す。
用具を用いた運動	体の動きをコントロールしながら身体感覚を高め、跳ねる、跳ぶ、降りる、よける、滑るなど全身のバランスをとる能力を身につける。
リトミック遊び	音楽そのものと表現を楽しみ、感じる心を育て、社会性を育む。
水泳教室	スイミングの全身運動から基本的な体力を身につけ、成長期の丈夫な体を作る。
英語教室	アルファベットに興味を持ち、ゲームや英会話を楽しみながら正しい発音を身につける。
乳幼児突然死症候群の予防	乳児の午睡中に 10 分間隔で呼吸を確認し、睡眠チェックリストに記入し記録する。合わせて、午睡チェックセンサーを活用し、二重チェックを行っている。
当番活動	給食配膳や日常生活の中で、自分の役割に責任をもって行動したり、友達を協力すること、我慢することなど経験をとおして学ぶ。
異年齢交流	異年齢の関わりを大切にし、クラスの枠や年齢の差を超えた子ども同士の心の交流を大切にする。
種苗植栽	苗植えから収穫までを自分たちで行い、農業の面白さや難しさ、収穫の喜びを体験する。

(2) 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数
水泳教室	ウィング（指導員）	毎週火曜日（月 3 回）
英語教室	中村　洋子	毎週月曜日（月 3 回）

(3) 実施した主な行事　（別紙 2）

3　給食の実施状況

- 旬の食材を利用して献立に変化を持たせるようにした。
- 栄養管理システムを導入し、献立表にカロリー表示やより詳しい食材等の表示を行った。
- 季節や行事にあった献立（行事食）を取り入れた。また、玄関に給食の展示を行った。
- 咀嚼や嚥下機能、発達状況などを観察しその発達を促すことができるよう、食品の種類や調理方法に配慮した。
- 栄養士、調理師が各クラスへ入り、子どもたちの食事の様子を見たり、味の感想を聞いたりしながら、献立や調理の方法の参考にした。

(1)　乳児

家庭で飲んでいるミルクを園でも使用した。補完食（離乳食）の場合、初めての食材は家庭でも口にしたものを取り入れている。その子の月齢や補完食の進み具合を考慮し、喫食状況を連絡帳や口頭で知らせ、家庭と園で連携を取りながら食材の幅を広げスムーズに補完食が進むようにした。

(2)　1、2 歳児

完全給食に加え、10 時と 15 時のおやつを実施した。

(3)　3 歳以上児

完全給食と 15 時のおやつを実施した。

(4)　手作りおやつ

おやつは園児にとっての食事の一部として重要であるので、平日は手作りおやつを実施した。

4　健康管理の実施状況

(1)　園児

- 毎月、身体測定を行い、計測値は身長体重測定表に記入。
- 毎月、園だよりを発行し、健康管理や感染症などの注意を促した。
- 健康診断

  ＜内科健診＞　嘱託医　冨本和彦先生　　年 2 回実施

  ＜歯科健診＞　嘱託歯科医　澁田大路先生　　年 2 回実施

  健診当日に欠席した園児は後日受診し、全園児の健康管理に努めた。
- アレルギー児への対応

  園児全員に対し調査を行いアレルギーのある園児に対してはかかりつけの病院の診断結果を提出してもらい、それらを保育教諭全員で共有している。
- 感染症が出た場合は、玄関のホワイトボードで感染状況を知らせ、保護者への注意喚起を行った。

(2)　職員

- 八戸市総合健診センターによる健康診断を 11 月に実施。また、健診結果を産業医に見てもらい、助言いただいた上で本人にも再度受診を勧めるなど、職員の健康管理に努めた。
- 毎月、専門業者に依頼し、赤痢菌、サルモネラ菌、腸管出血性大腸菌の検査を、給食担当、0 歳児担任に対して行った。

5　防災訓練の実施状況

(1)　避難訓練（地震・火災・台風・土砂災害）の実施

- 避難訓練、模擬消火訓練　　毎月
- 総合避難訓練　　年 2 回
- ちびっこ防災広場（東消防署主催）　　年長組参加

(2)　不審者侵入対策訓練

- 安心教室
- 不審者侵入対策訓練

(3)　交通安全教室

毎月 1 回、正しい交通ルールについて、紙芝居やパネルシアター、DVD の視聴などで楽しく学び、また園外保育に出かける際に実際の道路で正しい交通ルールを知らせた。

6　地域活動

新型コロナウィルス対策のため、活動を大幅縮減した。

運動会	園児の保護者（3 歳以上児のみ）
クリスマス発表会	年長児の保護者（年長児のみ公開。その他はビデオ収録し DVD 配布）

7　研修

新型コロナウィルス感染防止のため、外部研修への参加は見送った。
Web での研修は 4 回参加した。

8　教育実習生、看護実習生、中高生職場体験の受入

(1)　教育実習生

7/27～8/6	八戸学院大学短期大学部	2 名
2/15～2/26	八戸学院大学短期大学部	1 名

(2)　看護実習生

4/7～4/10	八戸市立高等看護学院	5 名
5/12～5/15	八戸市立高等看護学院	5 名
7/14～7/17	八戸市立高等看護学院	5 名

(3)　職場体験学習

新型コロナウィルス感染防止のため、実施されなかった。

9　施設設備

(1)　施設の改築・修繕（100 万円以上）

(2)　固定資産物品（10 万円以上）の購入

購入日	内容	金額[円]
令和 2 年 5 月 1 日	栄養計算システム用 PC	147,400
令和 2 年 6 月 4 日	イナバ物置（工事費含む）	147,026
令和 2 年 6 月 10 日	のびのびワイドテーブル	428,000
令和 2 年 7 月 10 日	ウッドライン引き出し棚	390,000
令和 2 年 7 月 10 日	ライティングテーブル先生用	115,000
令和 2 年 8 月 26 日	多目的室エアコン（工事費含む）	183,000
令和 2 年 9 月 10 日	分園用遊具	499,000
令和 2 年 10 月 9 日	砂場メッシュシート	115,000
令和 2 年 12 月 14 日	全自動軟水器	154,000
令和 3 年 1 月 19 日	分園屋外時計（工事費含む）	200,000
令和 3 年 3 月 10 日	ノートパソコン	138,000
令和 3 年 3 月 18 日	デスクトップパソコン	271,700

10　園評価報告

別紙 3 参照